

「交通安全に関する世論調査」の概要

内閣府政府広報室

- 1 調査目的 交通安全に対する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) 歩行者の交通安全
(2) 自転車の交通安全
(3) 高齢運転者対策
(4) シートベルト
(5) 運転支援技術
- 3 関係省庁 警察庁
- 4 調査対象 (1) 母集団 全国 18 歳以上の日本国籍を有する者
(2) 標本数 3,000 人
(3) 抽出方法 層化 2 段無作為抽出法
- 5 調査時期 平成 28 年 11 月 17 日～11 月 27 日
- 6 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 7 調査実施機関 一般社団法人 中央調査社
- 8 回収結果 (1) 有効回収数(率) 1,815 人 (60.5%)
(2) 調査不能数(率) 1,185 人 (39.5%)
— 不能内訳 —
転居 114 長期不在 127 一時不在 450
住所不明 28 拒否 402 被災 0
その他 64
(病気など)

9 性・年齢別回収結果

性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率			
			%				%				%			
男	18～19歳	48	25	52.1	男	18～19歳	25	13	52.0	女	18～19歳	23	12	52.2
	20～29歳	286	119	41.6		20～29歳	141	62	44.0		20～29歳	145	57	39.3
女	30～39歳	410	224	54.6	女	30～39歳	211	109	51.7	女	30～39歳	199	115	57.8
	40～49歳	481	283	58.8		40～49歳	236	115	48.7		40～49歳	245	168	68.6
計	50～59歳	439	281	64.0	計	50～59歳	230	138	60.0	計	50～59歳	209	143	68.4
	60～69歳	581	397	68.3		60～69歳	296	188	63.5		60～69歳	285	209	73.3
	70歳以上	755	486	64.4		70歳以上	329	231	70.2		70歳以上	426	255	59.9
計	3,000	1,815	60.5	計	1,468	856	58.3	計	1,532	959	62.6			

調査結果の概要

1 歩行者の交通安全

(1) 自動車やオートバイを運転するか

ふだん自動車やオートバイなどを運転するか聞いたところ、「ほとんど毎日運転している」と答えた者の割合が54.8%、「ときどき運転している」と答えた者の割合が14.1%、「運転免許は持っているが、ほとんど運転はしない」と答えた者の割合が9.8%、「運転免許は持っていない」と答えた者の割合が21.3%となっている。

都市規模別に見ると、「ほとんど毎日運転している」と答えた者の割合は小都市、町村で、「ときどき運転している」と答えた者の割合は大都市、中都市で、「運転免許は持っていない」と答えた者の割合は大都市で、それぞれ高くなっている。

性別に見ると、「ほとんど毎日運転している」、「ときどき運転している」と答えた者の割合は男性で、「運転免許は持っていない」と答えた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「ほとんど毎日運転している」と答えた者の割合は30歳代から50歳代で、「ときどき運転している」と答えた者の割合は40歳代で、「運転免許は持っていない」と答えた者の割合は70歳以上で、それぞれ高くなっている。 (図1, 表1)

図1 自動車やオートバイを運転するか

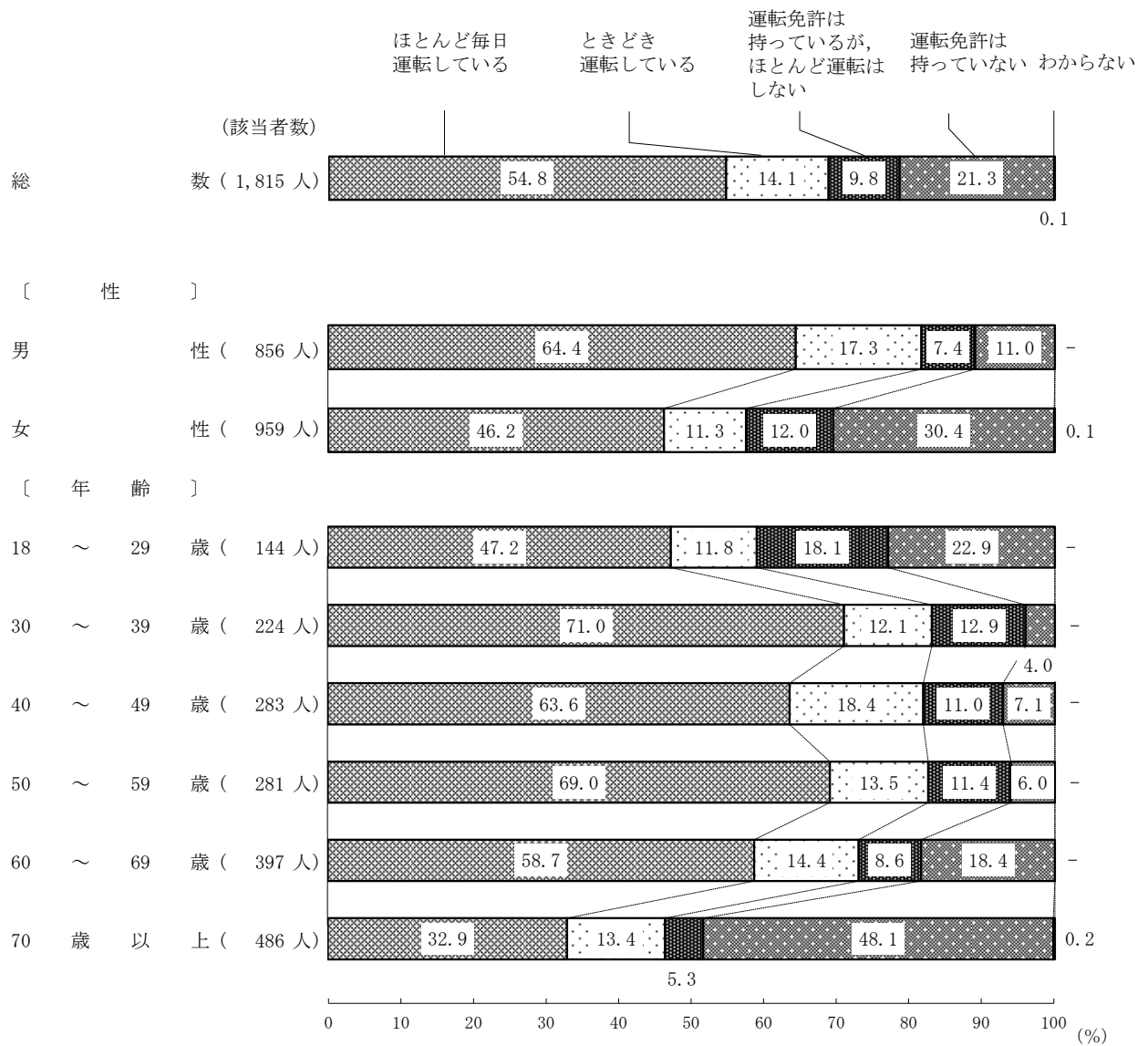


表1 自動車やオートバイを運転するか

	該 当 者 数	ほ と ん ど 毎 日 運 転 し て い る	と き ど き 運 転 し て い る	運 転 免 許 は 持 つ て い る が、 ほ と ん ど 運 転 は し な い	運 転 免 許 は 持 つ て い な い	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%
総数	1,815	54.8	14.1	9.8	21.3	0.1
〔都市規模〕						
大都市	434	35.5	17.5	16.1	30.9	-
東京都区部	85	16.5	18.8	17.6	47.1	-
政令指定都市	349	40.1	17.2	15.8	26.9	-
中都市	776	52.3	17.0	9.8	20.9	-
小都市	420	70.2	8.6	5.0	16.0	0.2
町	185	75.1	6.5	5.9	12.4	-
〔性〕						
男性	856	64.4	17.3	7.4	11.0	-
女性	959	46.2	11.3	12.0	30.4	0.1
〔年齢〕						
18～29歳	144	47.2	11.8	18.1	22.9	-
30～39歳	224	71.0	12.1	12.9	4.0	-
40～49歳	283	63.6	18.4	11.0	7.1	-
50～59歳	281	69.0	13.5	11.4	6.0	-
60～69歳	397	58.7	14.4	8.6	18.4	-
70歳以上	486	32.9	13.4	5.3	48.1	0.2
〔従業上の地位〕						
雇用者	834	70.4	13.3	9.5	6.8	-
自営業	158	69.6	15.8	5.1	9.5	-
家族従業者	52	59.6	5.8	11.5	23.1	-
無職	771	34.5	15.2	11.0	39.2	0.1
主婦	393	33.1	13.5	11.5	42.0	-
主夫	30	43.3	16.7	3.3	36.7	-
学生	33	6.1	15.2	21.2	57.6	-
その他の無職	315	38.4	17.1	10.2	34.0	0.3
〔職業〕						
管理・専門技術・事務職	434	64.1	19.8	12.2	3.9	-
管理職	64	65.6	25.0	7.8	1.6	-
専門・技術職	159	62.9	20.1	12.6	4.4	-
事務職	211	64.5	18.0	13.3	4.3	-
販売・サービス・保安職	292	66.4	12.3	7.5	13.7	-
農林漁業職	41	73.2	7.3	9.8	9.8	-
生産・輸送・建設・労務職	276	81.9	4.7	5.1	8.3	-
無回答	1	-	100.0	-	-	-

ア 信号機のない横断歩道の判断の仕方

ふだん自動車やオートバイなどを「ほとんど毎日運転している」、「ときどき運転している」、「運転免許は持っているが、ほとんど運転はしない」と答えた者(1,428人)に、自動車やオートバイなどを運転しているとき、進路前方に信号機のない横断歩道があることをどのようにして判断しているか聞いたところ、「横断歩道自体を見て判断する」を挙げた者の割合が69.5%と最も高く、以下、「歩行者が待っているのを見て判断する」(50.8%)、「道路標識で判断する」(47.1%)などの順となっている。(複数回答, 上位3項目)

都市規模別に見ると、「横断歩道自体を見て判断する」、「歩行者が待っているのを見て判断する」を挙げた者の割合は中都市で高くなっている。

性別に見ると、「歩行者が待っているのを見て判断する」を挙げた者の割合は女性で、「道路標識で判断する」を挙げた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。(図2, 表2)

図2 信号機のない横断歩道の判断の仕方

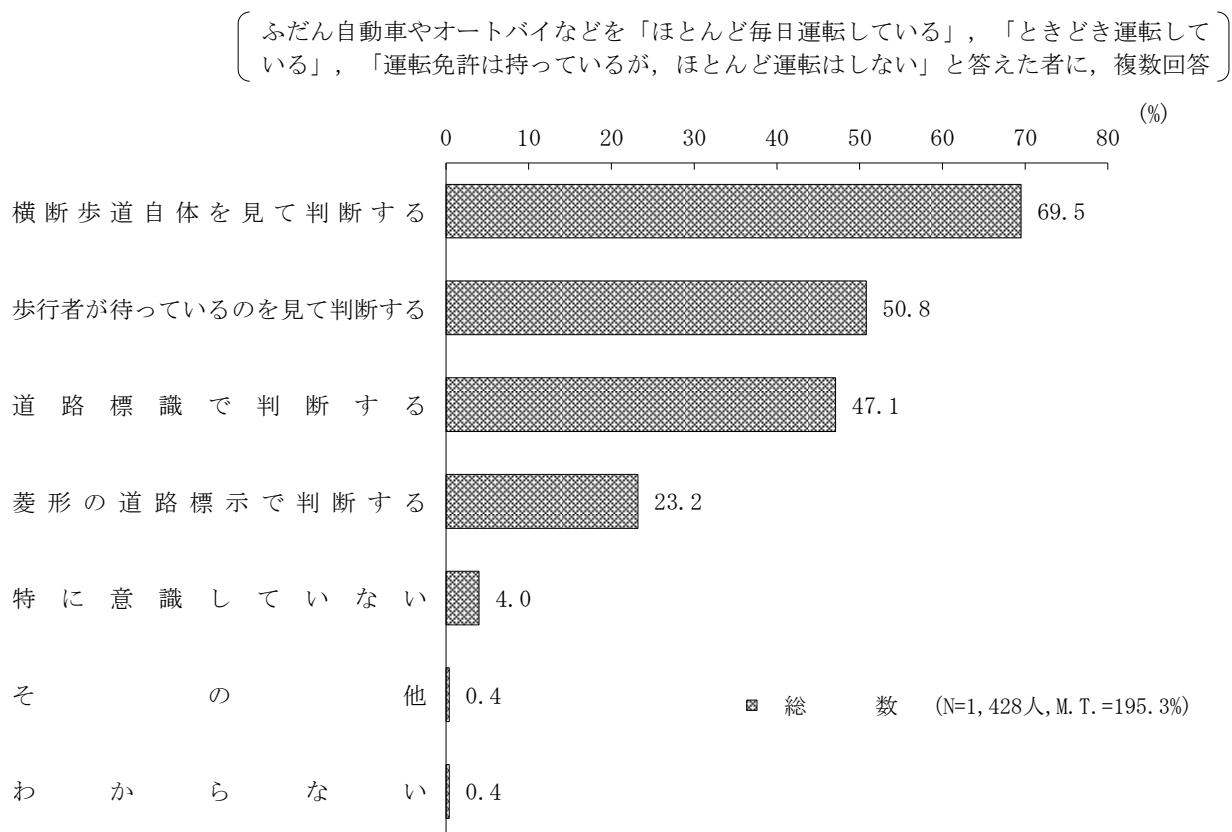


表2 信号機のない横断歩道の判断の仕方

〔ふだん自動車やオートバイなどを「ほとんど毎日運転している」、「ときどき運転している」、「運転免許は持っているが、ほとんど運転はしない」と答えた者に、複数回答〕

	該 当 者 数	る 横 断 歩 道 自 体 を 見 て 判 断 す	て 歩 行 者 が 待 っ て い る の を 見	道 路 標 識 で 判 断 す る	菱 形 の 道 路 標 示 で 判 断 す る	特 に 意 識 し て い な い	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,428	69.5	50.8	47.1	23.2	4.0	0.4	0.4	195.3
大 都 市	300	68.3	50.0	46.3	24.3	6.3	0.3	0.3	196.0
東 京 都 区 部	45	66.7	55.6	46.7	15.6	6.7	2.2	2.2	195.6
政 令 指 定 都 市	255	68.6	49.0	46.3	25.9	6.3	-	-	196.1
中 都 市	614	73.9	55.2	46.9	23.6	2.9	0.3	0.5	203.4
小 都 市	352	63.4	47.4	46.9	22.2	3.4	0.3	0.3	183.8
町 〔性〕	162	68.5	42.6	49.4	22.2	4.9	0.6	-	188.3
男 性	762	68.4	47.1	50.0	28.0	4.1	0.4	0.3	198.2
女 性	666	70.9	55.0	43.7	17.9	3.9	0.3	0.5	192.0
〔年齢〕									
18～29歳	111	66.7	55.0	45.9	19.8	3.6	0.9	-	191.9
30～39歳	215	74.0	48.8	40.0	20.9	3.7	-	-	187.4
40～49歳	263	72.6	52.1	46.8	20.9	3.4	0.8	-	196.6
50～59歳	264	71.6	47.7	49.2	30.3	3.4	-	0.4	202.7
60～69歳	324	67.9	49.7	50.0	23.8	4.6	-	0.6	196.6
70歳以上	251	63.7	53.8	47.8	21.1	4.8	0.8	0.8	192.8
〔従業上の地位〕									
雇 用 者	777	72.5	50.6	47.4	24.6	3.3	0.1	0.1	198.6
自 営 業 主	143	67.1	46.2	47.6	22.4	4.2	0.7	-	188.1
家 族 従 業 者	40	67.5	55.0	55.0	25.0	-	-	-	202.5
無 職	468	65.6	52.1	45.7	21.2	5.3	0.6	0.9	191.5
主 婦	228	66.7	50.9	42.5	16.7	6.1	0.4	0.4	183.8
主 夫	19	73.7	73.7	36.8	26.3	-	5.3	-	215.8
学 生	14	64.3	64.3	57.1	42.9	-	-	-	228.6
そ の 他 の 無 職	207	63.8	50.7	49.3	24.2	5.3	0.5	1.4	195.2
〔職業〕									
管 理 ・ 専 門 技 術 ・ 事 務 職	417	74.1	49.4	43.6	23.0	2.6	0.2	0.2	193.3
管 理 職	63	74.6	52.4	49.2	36.5	3.2	1.6	-	217.5
専 門 ・ 技 術 職	152	73.7	50.0	48.0	20.4	2.0	-	-	194.1
事 務 職	202	74.3	48.0	38.6	20.8	3.0	-	0.5	185.1
販 売 ・ サ ー ビ ス ・ 保 安 職	252	72.2	53.2	54.0	23.8	3.6	-	-	206.7
農 林 漁 業 職	37	56.8	45.9	48.6	13.5	2.7	-	-	167.6
生 産 ・ 輸 送 ・ 建 設 ・ 労 務 職	253	68.4	49.0	47.8	28.1	4.3	0.4	-	198.0
無 回 答	1	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	300.0

イ 信号機のない横断歩道で歩行者が待っているときの行動

ふだん自動車やオートバイなどを「ほとんど毎日運転している」、「ときどき運転している」、「運転免許は持っているが、ほとんど運転はしない」と答えた者(1,428人)に、自動車やオートバイなどを運転しているとき、信号機のない横断歩道で歩行者が待っていたら、どのような行動をとるか聞いたところ、「急ブレーキをかけても、横断歩道の手前で停まる」と答えた者の割合が10.6%、「急ブレーキをかけなくても停まれる場合は、横断歩道の手前で停まる」と答えた者の割合が34.4%、「歩行者が横断歩道を渡ろうとしていることが分かれば停まる」と答えた者の割合が45.3%、「後続車がおらず対向車が停まろうとしていれば停まる」と答えた者の割合が6.6%、「歩行者が飛び出してこない限り停まらずそのまま通過する」と答えた者の割合が2.1%となっている。

性別に見ると、「急ブレーキをかけなくても停まれる場合は、横断歩道の手前で停まる」と答えた者の割合は女性で高くなっている。(図3, 表3)

図3 信号機のない横断歩道で歩行者が待っているときの行動

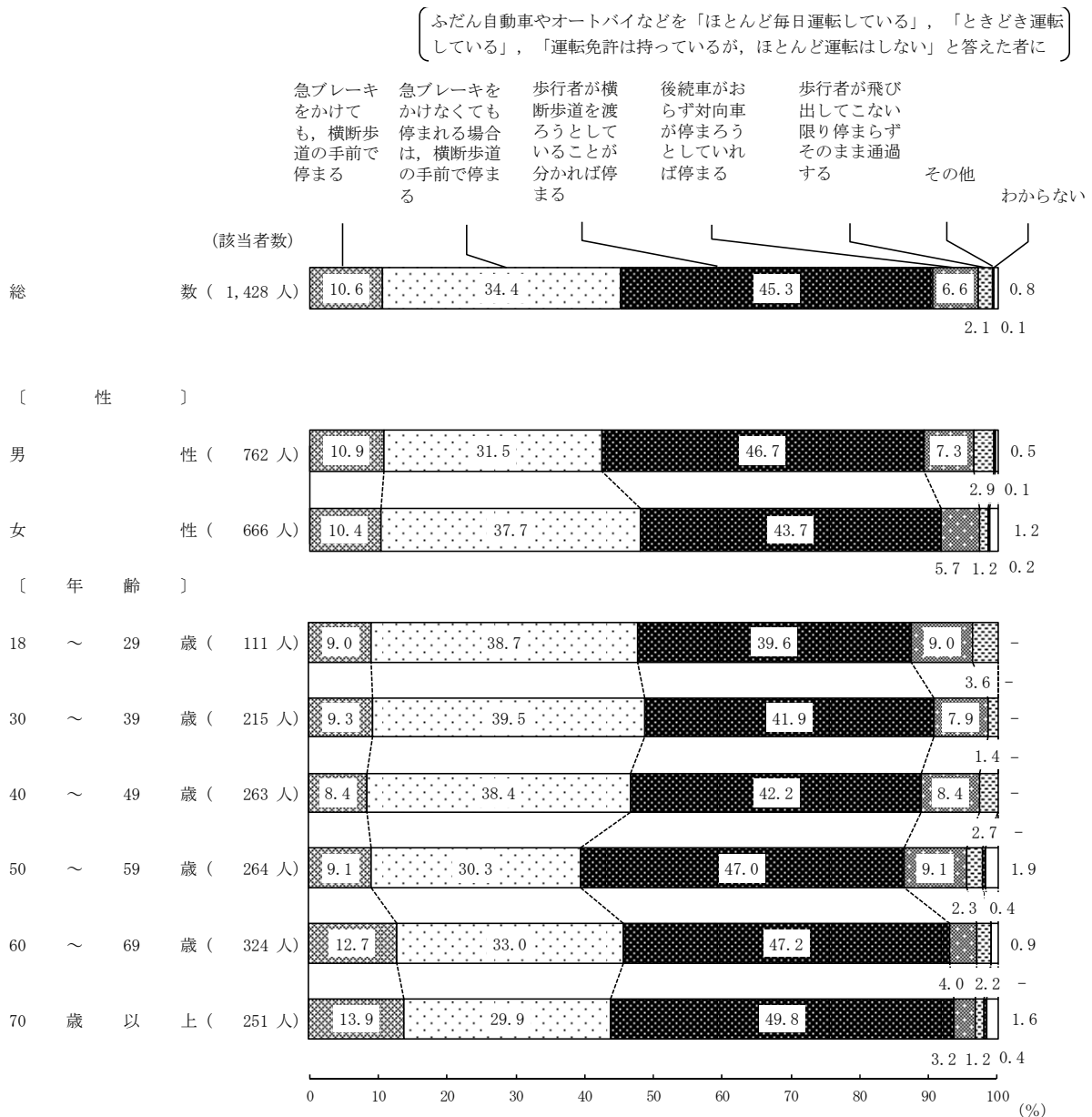


表3 信号機のない横断歩道で歩行者が待っているときの行動

〔ふだん自動車やオートバイなどを「ほとんど毎日運転している」、「ときどき運転している」、「運転免許は持っているが、ほとんど運転はしない」と答えた者に〕

	該 当 者 数	急 断 歩 道 の 手 前 で 待 て ま る 横	急 断 歩 道 の 手 前 で 待 て ま る 横	急 断 歩 道 の 手 前 で 待 て ま る 横	急 断 歩 道 の 手 前 で 待 て ま る 横	急 断 歩 道 の 手 前 で 待 て ま る 横	急 断 歩 道 の 手 前 で 待 て ま る 横	急 断 歩 道 の 手 前 で 待 て ま る 横	急 断 歩 道 の 手 前 で 待 て ま る 横
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,428	10.6	34.4	45.3	6.6	2.1	0.1	0.8	
〔都市規模〕									
大都市	300	14.0	29.7	49.3	3.7	1.0	0.3	2.0	
東京都	45	15.6	22.2	48.9	2.2	4.4	2.2	4.4	
政令指定都市	255	13.7	31.0	49.4	3.9	0.4	-	1.6	
中都市	614	7.5	36.6	45.4	7.7	2.3	-	0.5	
小都市	352	11.4	36.6	42.3	5.7	3.1	0.3	0.6	
町	162	14.8	29.6	43.8	9.9	1.2	-	0.6	
〔性〕									
男性	762	10.9	31.5	46.7	7.3	2.9	0.1	0.5	
女性	666	10.4	37.7	43.7	5.7	1.2	0.2	1.2	
〔年齢〕									
18～29歳	111	9.0	38.7	39.6	9.0	3.6	-	-	
30～39歳	215	9.3	39.5	41.9	7.9	1.4	-	-	
40～49歳	263	8.4	38.4	42.2	8.4	2.7	-	-	
50～59歳	264	9.1	30.3	47.0	9.1	2.3	0.4	1.9	
60～69歳	324	12.7	33.0	47.2	4.0	2.2	-	0.9	
70歳以上	251	13.9	29.9	49.8	3.2	1.2	0.4	1.6	
〔従業上の地位〕									
雇用者	777	8.9	35.3	44.9	8.2	2.1	0.1	0.5	
自営業	143	15.4	28.0	47.6	6.3	2.1	-	0.7	
家族従業者	40	12.5	37.5	37.5	10.0	2.5	-	-	
無職	468	12.0	34.6	45.9	3.6	2.1	0.2	1.5	
主婦	228	13.2	37.7	42.5	4.4	0.4	-	1.8	
主夫	19	10.5	42.1	31.6	10.5	-	5.3	-	
学生	14	7.1	28.6	57.1	-	7.1	-	-	
その他の無職	207	11.1	30.9	50.2	2.4	3.9	-	1.4	
〔職業〕									
管理・専門技術・事務職	417	8.9	35.5	46.0	6.7	1.7	0.2	1.0	
管理職	63	9.5	38.1	46.0	3.2	1.6	-	1.6	
専門・技術職	152	10.5	36.8	44.1	7.2	0.7	-	0.7	
事務職	202	7.4	33.7	47.5	7.4	2.5	0.5	1.0	
販売・サービス・保安職	252	12.7	33.7	44.4	7.1	1.6	-	0.4	
農林漁業職	37	13.5	35.1	40.5	8.1	2.7	-	-	
生産・輸送・建設・労務職	253	8.7	32.8	44.3	11.1	3.2	-	-	
無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	-	

2 自転車の交通安全

(1) 自転車に乗る際のヘルメットの着用

自転車に乗る際にヘルメットを着用しているか聞いたところ、「常に着用している」と答えた者の割合が1.2%、「だいたい着用している」と答えた者の割合が0.6%、「ときどき着用している」と答えた者の割合が1.3%、「着用していない」と答えた者の割合が43.4%、「自転車に全く乗らない」と答えた者の割合が53.4%となっている。

都市規模別に見ると、「着用していない」と答えた者の割合は大都市，中都市で，「自転車に全く乗らない」と答えた者の割合は小都市，町村で，それぞれ高くなっている。

性別に見ると，「着用していない」と答えた者の割合は男性で，「自転車に全く乗らない」と答えた者の割合は女性で，それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると，「着用していない」と答えた者の割合は18～29歳，40歳代で，「自転車に全く乗らない」と答えた者の割合は70歳以上で，それぞれ高くなっている。（図4，表4）

図4 自転車に乗る際のヘルメットの着用

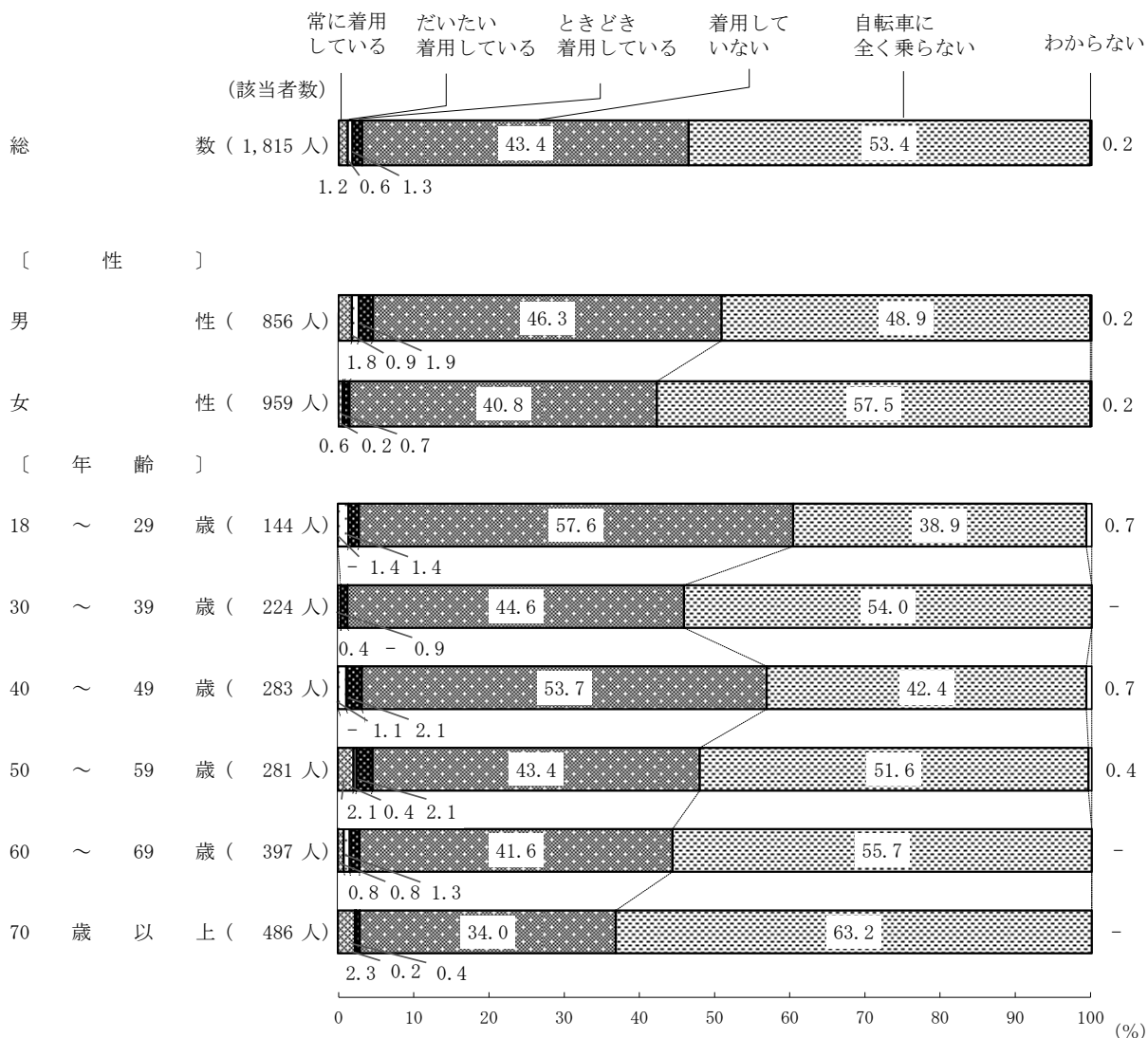


表4 自転車に乗る際のヘルメットの着用

	該 当 者 数	常 に 着 用 し て い る	だ い た い 着 用 し て い る	と き ど き 着 用 し て い る	着 用 し て い な い	自 転 車 に 全 く 乗 ら な い	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,815	1.2	0.6	1.3	43.4	53.4	0.2
大 都 市	434	0.5	0.2	1.4	47.9	49.8	0.2
東 京 都 区 部	85	2.4	1.2	2.4	44.7	49.4	-
政 令 指 定 都 市	349	-	-	1.1	48.7	49.9	0.3
中 都 市	776	1.3	0.6	0.8	46.8	50.3	0.3
小 都 市	420	1.4	0.7	1.7	37.6	58.3	0.2
町 村	185	1.6	0.5	2.2	31.4	64.3	-
〔性〕							
男 性	856	1.8	0.9	1.9	46.3	48.9	0.2
女 性	959	0.6	0.2	0.7	40.8	57.5	0.2
〔年 齢〕							
18 ～ 29 歳	144	-	1.4	1.4	57.6	38.9	0.7
30 ～ 39 歳	224	0.4	-	0.9	44.6	54.0	-
40 ～ 49 歳	283	-	1.1	2.1	53.7	42.4	0.7
50 ～ 59 歳	281	2.1	0.4	2.1	43.4	51.6	0.4
60 ～ 69 歳	397	0.8	0.8	1.3	41.6	55.7	-
70 歳 以 上	486	2.3	0.2	0.4	34.0	63.2	-
〔従業上の地位〕							
雇 用 者	834	1.0	0.5	1.8	45.8	50.5	0.5
自 営 業 主	158	2.5	1.3	1.9	45.6	48.7	-
家 族 従 業 者	52	1.9	-	-	34.6	63.5	-
無 職	771	1.0	0.5	0.6	40.9	56.9	-
主 婦	393	0.8	-	0.5	41.0	57.8	-
主 夫	30	-	-	3.3	26.7	70.0	-
学 生	33	-	3.0	-	90.9	6.1	-
そ の 他 の 無 職	315	1.6	1.0	0.6	36.8	60.0	-
〔職 業〕							
管 理 ・ 専 門 技 術 ・ 事 務 職	434	1.8	0.5	2.3	44.7	50.0	0.7
管 理 職	64	1.6	-	1.6	34.4	60.9	1.6
専 門 ・ 技 術 職	159	1.3	0.6	3.1	45.3	49.1	0.6
事 務 職	211	2.4	0.5	1.9	47.4	47.4	0.5
販 売 ・ サ ー ビ ス ・ 保 安 職	292	1.0	0.7	0.3	47.9	49.7	0.3
農 林 漁 業 職	41	2.4	2.4	4.9	41.5	48.8	-
生 産 ・ 輸 送 ・ 建 設 ・ 労 務 職	276	0.4	0.4	1.8	43.8	53.6	-
無 回 答	1	-	-	-	-	100.0	-

ア ヘルメットを着用しない理由

自転車に乗る際にヘルメットを「ときどき着用している」、「着用していない」と答えた者（810人）に、ヘルメットを着用していない理由を聞いたところ、「着用するのが面倒だから」を挙げた者の割合が44.0%、「着用を強く推奨されていないから」を挙げた者の割合が42.2%と高く、以下、「着用しなくても安全が保てると思うから」（24.4%）などの順となっている。（複数回答、上位3項目）

性別に見ると、「着用するのが面倒だから」、「着用しなくても安全が保てると思うから」を挙げた者の割合は男性で、「着用を強く推奨されていないから」を挙げた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。（図5、表5）

図5 ヘルメットを着用しない理由

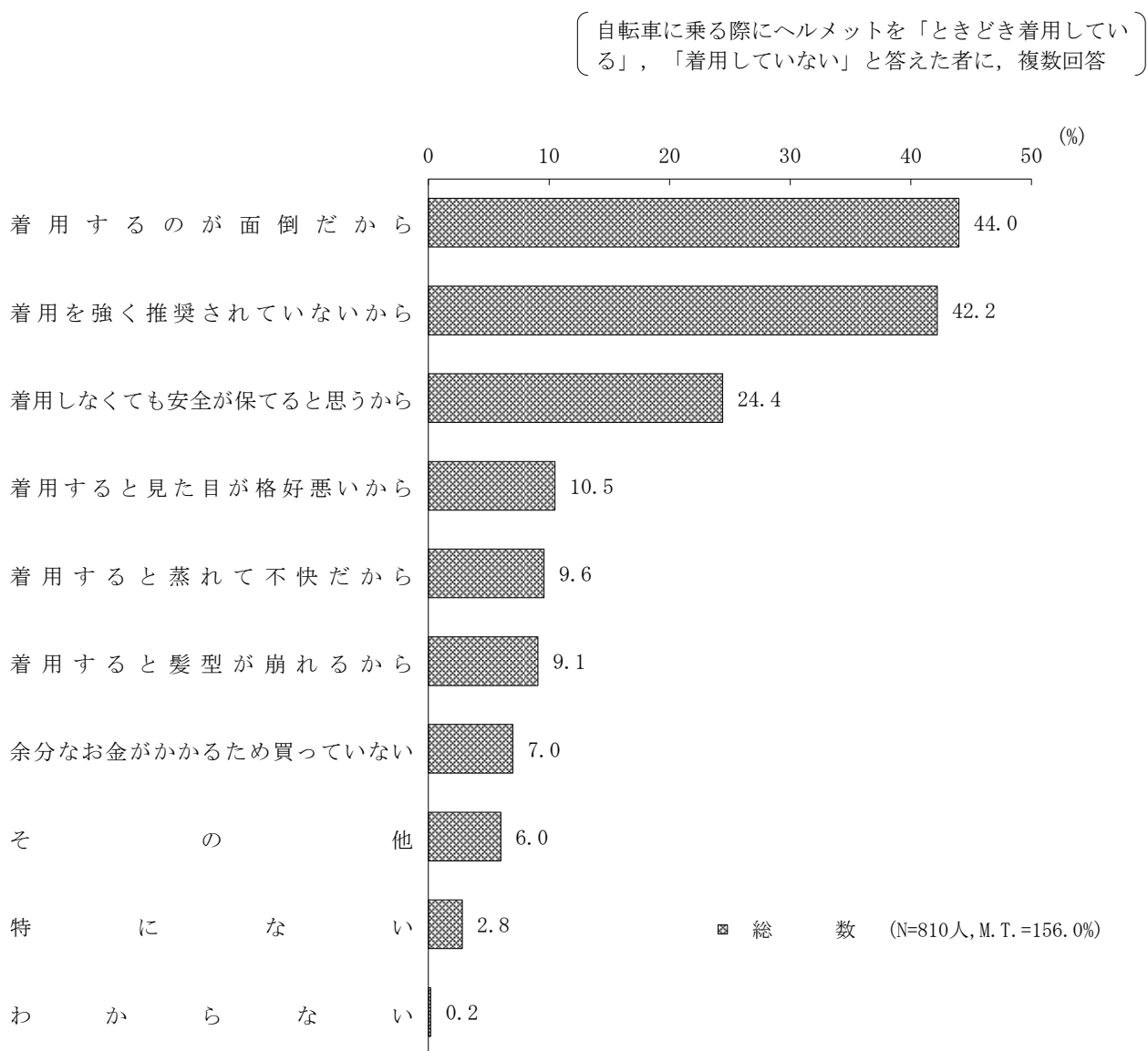


表5 ヘルメットを着用しない理由

(自転車に乗る際にヘルメットを「ときどき着用している」、「着用していない」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	着 用 す る の が 面 倒 だ か ら	い 着 用 を 強 く 推 奨 さ れ て い な い	着 用 し な く た も 安 全 が 保 て ら れ な い	い 着 用 す る と 目 が 格 好 悪 い	着 用 す る と 蒸 れ て 不 快 だ か	着 用 す る と 髪 型 が 崩 れ る か	余 分 な お 金 が か か る た め	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	810	44.0	42.2	24.4	10.5	9.6	9.1	7.0	6.0	2.8	0.2	156.0
[都市規模]												
大都市	214	41.6	48.6	23.8	8.9	8.9	11.2	5.1	5.1	1.4	-	154.7
東京都	40	52.5	47.5	22.5	10.0	10.0	12.5	2.5	7.5	-	-	165.0
政令指定都市	174	39.1	48.9	24.1	8.6	8.6	10.9	5.7	4.6	1.7	-	152.3
中都市	369	45.5	41.7	27.9	11.1	10.8	8.4	8.4	5.7	2.4	-	162.1
小都市	165	46.1	38.2	16.4	8.5	7.9	10.9	6.7	7.9	4.2	1.2	147.9
町	62	37.1	33.9	27.4	17.7	9.7	1.6	6.5	6.5	6.5	-	146.8
[性別]												
男性	412	49.5	36.7	29.1	7.3	8.0	4.9	7.8	5.3	2.2	0.2	151.0
女性	398	38.2	48.0	19.6	13.8	11.3	13.6	6.3	6.8	3.5	0.3	161.3
[年齢]												
18～29歳	85	51.8	42.4	23.5	12.9	9.4	10.6	8.2	3.5	2.4	-	164.7
30～39歳	102	48.0	49.0	21.6	17.6	10.8	7.8	8.8	-	-	-	163.7
40～49歳	158	44.9	51.9	17.1	17.1	10.8	14.6	8.9	5.1	3.2	-	173.4
50～59歳	128	51.6	32.8	28.1	10.9	16.4	12.5	8.6	5.5	2.3	-	168.8
60～69歳	170	41.8	42.9	25.9	4.7	5.9	4.7	1.8	8.2	3.5	0.6	140.0
70歳以上	167	32.9	35.3	29.3	4.2	6.6	6.0	7.8	10.2	4.2	0.6	137.1
[従業上の地位]												
雇用者	397	47.1	43.1	23.4	12.3	11.3	10.8	8.8	4.5	1.3	0.3	163.0
自営業	75	46.7	34.7	26.7	5.3	6.7	2.7	1.3	6.7	4.0	-	134.7
家族従業者	18	38.9	33.3	27.8	5.6	-	-	5.6	5.6	16.7	-	133.3
無職	320	39.7	43.4	25.0	9.7	8.8	9.1	6.3	7.8	3.8	0.3	153.8
主婦	163	35.6	47.2	24.5	12.9	12.9	12.9	4.9	9.8	3.1	0.6	164.4
主夫	9	55.6	55.6	33.3	-	-	-	-	-	-	-	144.4
学生	30	56.7	40.0	23.3	13.3	10.0	10.0	6.7	3.3	6.7	-	170.0
その他の無職	118	39.8	38.1	25.4	5.1	3.4	4.2	8.5	6.8	4.2	-	135.6
[職業]												
管理・専門技術・事務職	204	49.0	41.7	23.0	12.7	9.8	9.3	5.9	2.5	2.0	0.5	156.4
管理職	23	52.2	47.8	13.0	8.7	8.7	4.3	4.3	-	-	-	139.1
専門・技術職	77	48.1	44.2	20.8	9.1	7.8	9.1	9.1	5.2	1.3	1.3	155.8
事務職	104	49.0	38.5	26.9	16.3	11.5	10.6	3.8	1.0	2.9	-	160.6
販売・サービス・保安職	141	47.5	48.2	24.1	13.5	12.8	14.2	9.2	6.4	1.4	-	177.3
農林漁業職	19	36.8	31.6	15.8	-	-	-	10.5	-	15.8	-	110.5
生産・輸送・建設・労務職	126	43.7	34.9	27.0	7.1	9.5	4.8	7.9	7.9	1.6	-	144.4

3 高齢運転者対策

(1) 高齢運転者の事故を防ぐために重要なこと

75歳以上の運転者は、免許人口10万人当たりの死亡事故が平成27年には全年齢層の平均の約2倍であり、また、身体機能が衰えているのに運転を続ける方も多いとされているが、高齢運転者の事故を防ぐために、重要だと思うことを聞いたところ、「運転免許を保有している高齢者の身体機能のチェックの強化」を挙げた者の割合が70.7%と最も高く、以下、「認知症の早期診断等のための体制整備」(59.2%)、「高齢者の移動手段確保に向けた地域公共交通網の整備」(52.9%)、「運転免許証の自主返納のメリットの拡充や広報の強化」(52.7%)などの順となっている。(複数回答、上位4項目)

都市規模別に見ると、「高齢者の移動手段確保に向けた地域公共交通網の整備」、「運転免許証の自主返納のメリットの拡充や広報の強化」を挙げた者の割合は中都市で高くなっている。

性別に見ると、「認知症の早期診断等のための体制整備」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。(図6、表6)

図6 高齢運転者の事故を防ぐために重要なこと

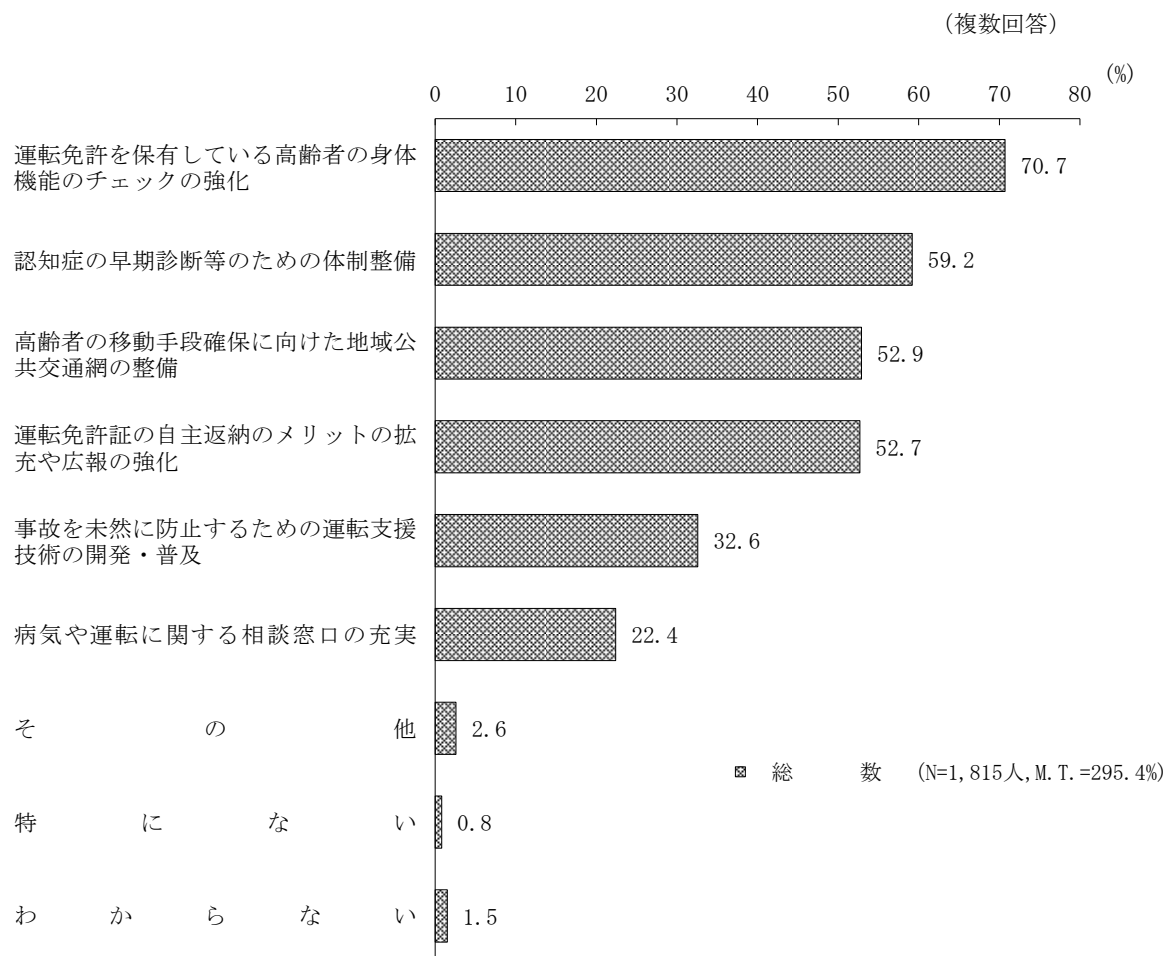


表6 高齢運転者の事故を防ぐために重要なこと

(複数回答)

	該 当 者 数	の 強 化	運 転 者 の 免 許 身 体 機 能 の チ ェ ツ ク	認 知 症 の 整 備	早 期 診 断 等 の た め	高 齢 者 の 公 共 交 通 網 の 保 全 に 向	リ 運 転 ト の 許 証 充 つ た 自 主 報 告 の 強 化	及 事 故 を 未 然 に 防 止 す る た め	口 病 の 充 実	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.) %
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,815	70.7	59.2	52.9	52.7	32.6	22.4	2.6	0.8	1.5	295.4		
大 都 市	434	69.1	57.4	50.7	51.8	31.8	20.0	3.0	0.5	0.9	285.3		
東 京 都 区	85	72.9	62.4	48.2	54.1	37.6	27.1	4.7	1.2	1.2	309.4		
政 令 指 定 都 市	349	68.2	56.2	51.3	51.3	30.4	18.3	2.6	0.3	0.9	279.4		
中 都 市	776	71.3	61.6	57.9	57.6	36.0	25.1	2.3	0.5	1.2	313.4		
小 都 市	420	72.4	58.1	46.7	46.2	28.3	22.6	2.6	1.9	2.1	281.0		
町 村	185	68.1	55.7	51.9	48.6	30.3	16.2	3.2	-	2.7	276.8		
〔性〕													
男 性	856	70.8	55.6	51.9	50.6	34.2	20.2	3.5	1.1	0.7	288.6		
女 性	959	70.6	62.4	53.9	54.5	31.2	24.4	1.9	0.5	2.2	301.6		
〔年齢〕													
18 ～ 29 歳	144	75.7	48.6	50.7	50.0	35.4	18.1	2.1	0.7	-	281.3		
30 ～ 39 歳	224	73.2	58.0	59.8	53.1	34.4	20.5	2.7	0.4	0.4	302.7		
40 ～ 49 歳	283	79.5	60.8	55.1	56.5	35.7	22.6	0.7	-	0.4	311.3		
50 ～ 59 歳	281	76.9	64.4	61.2	64.1	37.4	27.0	2.1	-	-	333.1		
60 ～ 69 歳	397	73.0	64.2	54.4	54.2	33.0	25.9	2.0	0.5	0.8	308.1		
70 歳 以 上	486	57.4	54.7	43.2	43.2	26.1	18.9	4.7	2.1	4.5	254.9		
〔従業上の地位〕													
雇 用 者	834	75.1	60.9	57.6	57.2	37.1	22.9	1.8	0.6	0.2	313.3		
自 営 業 主	158	72.2	55.1	49.4	50.6	29.1	24.1	5.7	0.6	1.3	288.0		
家 族 従 業 者	52	65.4	67.3	50.0	50.0	19.2	19.2	-	1.9	-	273.1		
無 職	771	66.0	57.6	48.9	48.4	29.4	21.8	3.1	0.9	3.0	279.1		
主 婦	393	67.4	61.3	50.9	53.9	29.8	25.2	1.8	0.5	2.5	293.4		
主 夫	30	76.7	53.3	56.7	60.0	26.7	26.7	-	3.3	-	303.3		
学 生	33	81.8	36.4	57.6	36.4	42.4	12.1	-	-	-	266.7		
そ の 他 の 無 職	315	61.6	55.6	44.8	41.6	27.9	18.1	5.4	1.3	4.1	260.3		
〔職業〕													
管 理 ・ 専 門 技 術 ・ 事 務 職	434	75.8	59.2	59.0	59.7	36.2	21.9	1.4	0.5	0.2	313.8		
管 理 職	64	76.6	67.2	60.9	65.6	39.1	31.3	1.6	1.6	1.6	345.3		
専 門 ・ 技 術 職	159	76.1	57.9	58.5	60.4	34.0	18.9	1.3	0.6	-	307.5		
事 務 職	211	75.4	57.8	58.8	57.3	37.0	21.3	1.4	-	-	309.0		
販 売 ・ サ ー ビ ス ・ 保 安 職	292	76.4	66.1	57.9	52.7	39.7	27.4	2.4	0.7	0.7	324.0		
農 林 漁 業 職	41	61.0	58.5	43.9	26.8	17.1	17.1	4.9	2.4	-	231.7		
生 産 ・ 輸 送 ・ 建 設 ・ 労 務 職	276	71.4	56.5	51.1	57.2	30.8	20.3	3.3	0.7	0.4	291.7		
無 回 答	1	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	200.0		

4 シートベルト

(1) 一般道路における後部座席のシートベルト着用義務違反

一般道路における後部座席でのシートベルト着用義務違反についてどう思うか聞いたところ、「今のままでよい（一般道路における後部座席での着用義務違反については、行政処分の基礎点数を科さなくてよい）」と答えた者の割合が 51.8%、「一般道路における後部座席での着用が定着した後、違反者に対して行政処分の基礎点数を科すべきである」と答えた者の割合が 28.7%、「一般道路における後部座席についても直ちに行政処分の基礎点数を科すべきである」と答えた者の割合が 15.2%となっている。

性別に見ると、「今のままでよい（一般道路における後部座席での着用義務違反については、行政処分の基礎点数を科さなくてよい）」と答えた者の割合は男性で高くなっている。

年齢別に見ると、「今のままでよい（一般道路における後部座席での着用義務違反については、行政処分の基礎点数を科さなくてよい）」と答えた者の割合は 30 歳代、40 歳代で、「一般道路における後部座席についても直ちに行政処分の基礎点数を科すべきである」と答えた者の割合は 70 歳以上で、それぞれ高くなっている。（図 7，表 7）

図7 一般道路における後部座席のシートベルト着用義務違反

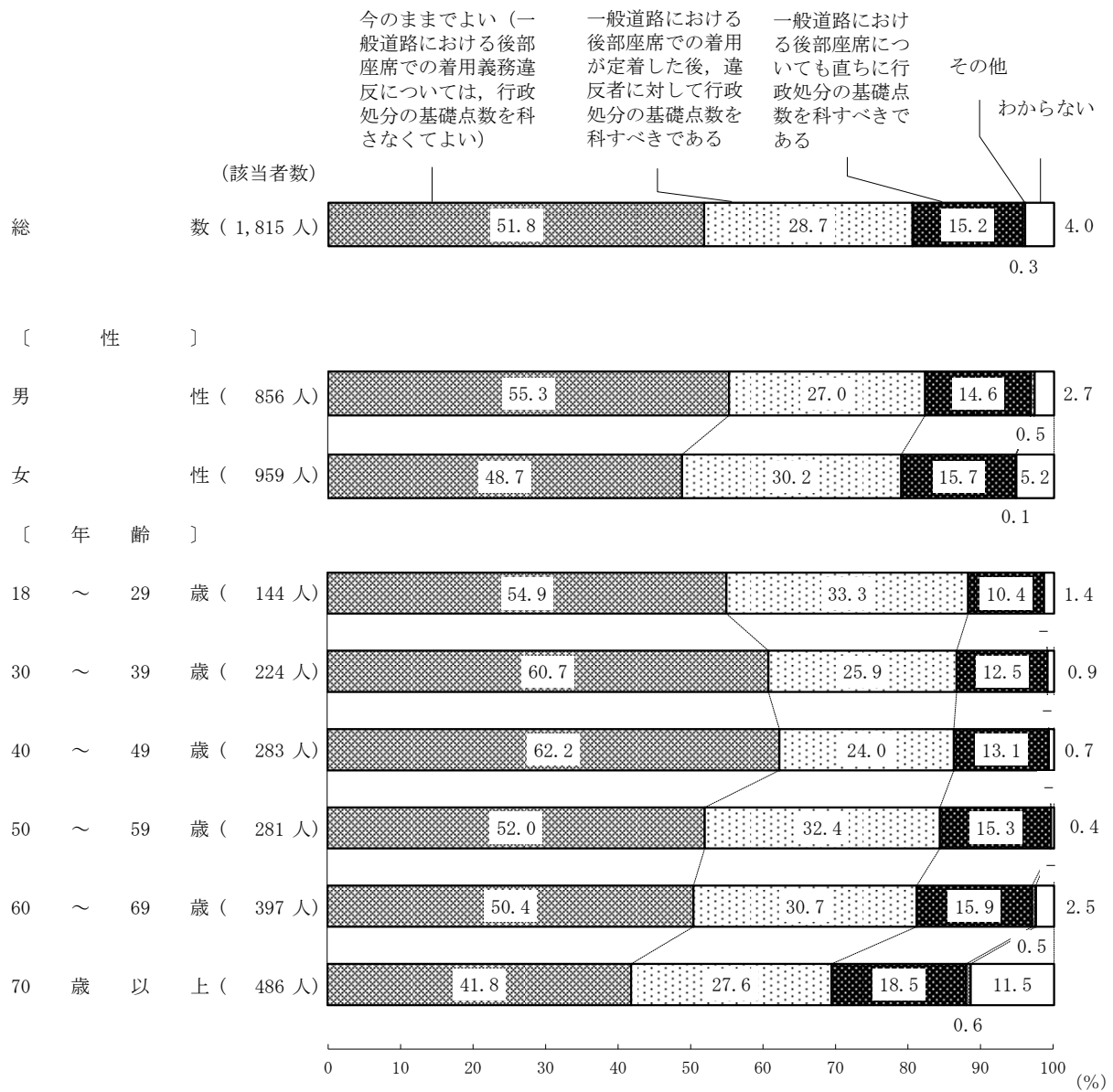


表7 一般道路における後部座席のシートベルト着用義務違反

	該 当 者 数	て処義に今 よ分務おの いの違けま ）の反るま 基礎に後で 点つ部よ 数をて席い を科は、で さ、の般 なく行政用路	礎反で一 点者般 数に着道 を対用路 科しがに すて定お べき政ける で処た後 ある分後部 るの基違席	るのに一 基つ般 礎い道 点て路 数もに を直お 科ちける すにる べき行政 であ部 分座席	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%
総数	1,815	51.8	28.7	15.2	0.3	4.0
〔都市規模〕						
大都市	434	52.1	26.5	16.6	0.5	4.4
東京都	85	44.7	38.8	12.9	-	3.5
政令指定都市	349	53.9	23.5	17.5	0.6	4.6
中都市	776	49.9	30.5	16.0	0.4	3.2
小都市	420	54.0	27.4	14.0	-	4.5
町	185	54.1	29.2	11.4	-	5.4
〔性〕						
男	856	55.3	27.0	14.6	0.5	2.7
女	959	48.7	30.2	15.7	0.1	5.2
〔年齢〕						
18～29歳	144	54.9	33.3	10.4	-	1.4
30～39歳	224	60.7	25.9	12.5	-	0.9
40～49歳	283	62.2	24.0	13.1	-	0.7
50～59歳	281	52.0	32.4	15.3	-	0.4
60～69歳	397	50.4	30.7	15.9	0.5	2.5
70歳以上	486	41.8	27.6	18.5	0.6	11.5
〔従業上の地位〕						
雇用者	834	57.7	28.3	12.8	0.1	1.1
自営業主	158	54.4	27.8	14.6	-	3.2
家族従業者	52	57.7	25.0	13.5	1.9	1.9
無職	771	44.5	29.6	18.0	0.4	7.5
主婦	393	43.3	31.0	18.8	-	6.9
主夫	30	36.7	43.3	13.3	-	6.7
学生	33	42.4	39.4	18.2	-	-
その他の無職	315	47.0	25.4	17.5	1.0	9.2
〔職業〕						
管理・専門技術・事務職	434	57.1	29.5	12.2	0.2	0.9
管理職	64	54.7	26.6	15.6	1.6	1.6
専門・技術職	159	60.4	30.2	9.4	-	-
事務職	211	55.5	29.9	13.3	-	1.4
販売・サービス・保安職	292	54.1	30.5	13.4	-	2.1
農林漁業職	41	63.4	19.5	12.2	2.4	2.4
生産・輸送・建設・労務職	276	59.8	24.3	14.5	-	1.4
無回答	1	-	100.0	-	-	-

5 運転支援技術

(1) 「自動運転」機能の利用方法を理解するための機会

現在実用化されている「自動運転」機能の利用方法について、運転者が正しく理解するための機会を設けるべきだという意見があるが、特にどのような機会を設けるべきか聞いたところ、「自動車の操作方法に関する説明書等に利用方法を記載する」と答えた者の割合が10.7%、「自動車メーカーや販売店が、自動車販売時に購入者に対して利用方法について説明する」と答えた者の割合が54.9%、「警察等が、交通安全教育時において広く一般に利用方法に関する説明を行う」と答えた者の割合が25.5%となっている。

都市規模別に見ると、「自動車の操作方法に関する説明書等に利用方法を記載する」と答えた者の割合は大都市で高くなっている。

年齢別に見ると、「自動車メーカーや販売店が、自動車販売時に購入者に対して利用方法について説明する」と答えた者の割合は40歳代、50歳代で高くなっている。（図8、表8）

図8 「自動運転」機能の利用方法を理解するための機会

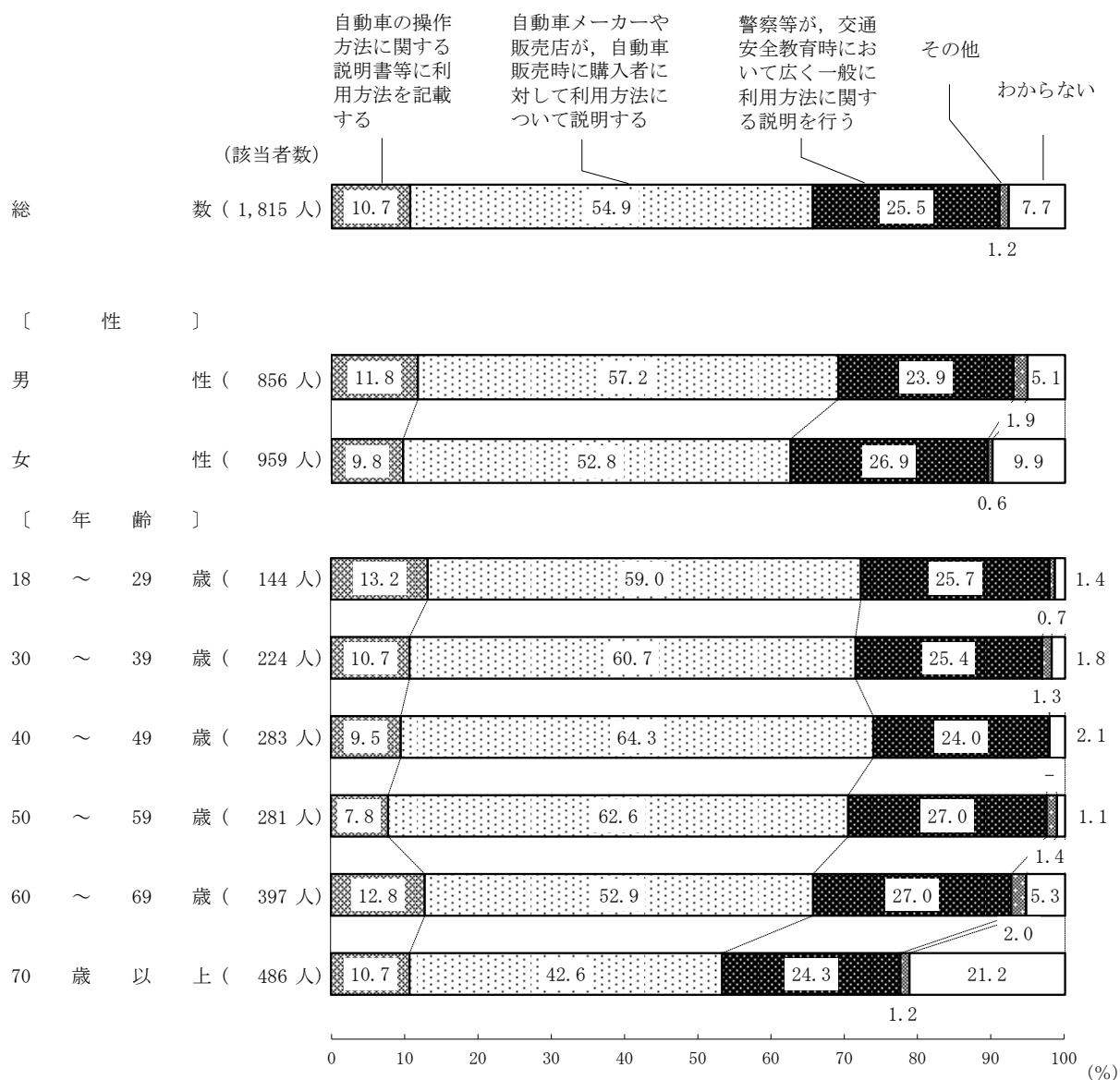


表8 「自動運転」機能の利用方法を理解するための機会

	該 当 者 数	説明書等に操作方法を記載する	が、自動車メーカーや販売店に購入する際に、説明書を利用する方法について	警察等が、交通安全教育時において広く一般に利用する方法に関する説明を行う	その他	わからない
	人	%	%	%	%	%
総数	1,815	10.7	54.9	25.5	1.2	7.7
〔都市規模〕						
大都市	434	13.8	53.5	24.2	1.6	6.9
東京都区部	85	18.8	45.9	30.6	1.2	3.5
政令指定都市	349	12.6	55.3	22.6	1.7	7.7
中都市	776	8.8	57.3	25.4	1.5	7.0
小都市	420	11.2	52.9	25.5	0.5	10.0
町	185	10.8	52.4	29.2	0.5	7.0
〔性〕						
男性	856	11.8	57.2	23.9	1.9	5.1
女性	959	9.8	52.8	26.9	0.6	9.9
〔年齢〕						
18～29歳	144	13.2	59.0	25.7	0.7	1.4
30～39歳	224	10.7	60.7	25.4	1.3	1.8
40～49歳	283	9.5	64.3	24.0	-	2.1
50～59歳	281	7.8	62.6	27.0	1.4	1.1
60～69歳	397	12.8	52.9	27.0	2.0	5.3
70歳以上	486	10.7	42.6	24.3	1.2	21.2
〔従業上の地位〕						
雇用者	834	10.3	61.9	24.1	1.6	2.2
自営業主	158	8.9	60.1	23.4	0.6	7.0
家族従業者	52	15.4	55.8	17.3	-	11.5
無職	771	11.3	46.2	28.0	1.0	13.5
主婦	393	9.9	47.8	29.8	-	12.5
主夫	30	6.7	56.7	23.3	6.7	6.7
学生	33	15.2	60.6	24.2	-	-
その他の無職	315	13.0	41.6	26.7	1.9	16.8
〔職業〕						
管理・専門技術・事務職	434	8.5	64.3	23.7	1.6	1.8
管理職	64	7.8	62.5	21.9	4.7	3.1
専門・技術職	159	8.2	69.2	20.1	1.3	1.3
事務職	211	9.0	61.1	27.0	0.9	1.9
販売・サービス・保安職	292	11.0	55.1	27.4	1.7	4.8
農林漁業職	41	14.6	48.8	24.4	-	12.2
生産・輸送・建設・労務職	276	12.0	65.2	19.2	0.7	2.9
無回答	1	-	-	100.0	-	-

交通安全に関する世論調査

平成28年11月

調査時期：平成28年11月17日から平成28年11月27日
調査対象：全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人
有効回収数(率)：1,815人(60.5%)

話は変わりますが、次に時事問題として、「交通安全」についてお聞きします。

1. 歩行者の交通安全

Q1【回答票1】あなたは、ふだん自動車やオートバイなどを運転しますか。
この中から1つだけお答えください。

- (54.8) (ア) ほとんど毎日運転している
 - (14.1) (イ) ときどき運転している
 - (9.8) (ウ) 運転免許は持っているが、ほとんど運転はしない
 - (21.3) (エ) 運転免許は持っていない
 - (0.1) (オ) わからない
- (Q2へ)

(Q1で「(ア) ほとんど毎日運転している」、「(イ) ときどき運転している」、「(ウ) 運転免許は持っているが、ほとんど運転はしない」と答えた方に)

SQ1【回答票2】あなたは、自動車やオートバイなどを運転しているとき、進路前方に信号機のない横断歩道があることをどのようにして判断していますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(N=1,428)

- (47.1) (ア) 道路標識で判断する
- (23.2) (イ) 菱形の道路標示で判断する
- (69.5) (ウ) 横断歩道自体を見て判断する
- (50.8) (エ) 歩行者が待っているのを見て判断する
- (4.0) (オ) 特に意識していない
- (0.4) その他 ()
- (0.4) わからない (M.T.=195.3)

SQ2【回答票3】あなたは、自動車やオートバイなどを運転しているとき、信号機のない横断歩道で歩行者が待っていたら、どのような行動をとりますか。
この中から1つだけお答えください。

- (10.6) (ア) 急ブレーキをかけても、横断歩道の手前で停まる
- (34.4) (イ) 急ブレーキをかけなくても停まれる場合は、横断歩道の手前で停まる
- (45.3) (ウ) 歩行者が横断歩道を渡ろうとしていることが分かれば停まる
- (6.6) (エ) 後続車がおらず対向車が停まろうとしていれば停まる
- (2.1) (オ) 歩行者が飛び出してこない限り停まらずそのまま通過する
- (0.1) その他 ()
- (0.8) わからない

2. 自転車の交通安全

(全員の方に)

Q2〔回答票4〕あなたは、自転車に乗る際にヘルメットを着用していますか。
この中から1つだけお答えください。

- (1.2) (ア) 常に着用している → (Q3へ)
(0.6) (イ) だいたい着用している
(1.3) (ウ) ときどき着用している
(43.4) (エ) 着用していない
(53.4) (オ) 自転車に全く乗らない → (Q3へ)
(0.2) わからない

(Q2で「(ウ) ときどき着用している」, 「(エ) 着用していない」と答えた方に)

SQ〔回答票5〕ヘルメットを着用していない理由はなぜですか。
この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=810)

- (7.0) (ア) 余分なお金がかかるため買っていない
(10.5) (イ) 着用すると見た目が格好悪いから
(9.1) (ウ) 着用すると髪型が崩れるから
(9.6) (エ) 着用すると蒸れて不快だから
(44.0) (オ) 着用するのが面倒だから
(24.4) (カ) 着用しなくても安全が保てると思うから
(42.2) (キ) 着用を強く推奨されていないから
(6.0) その他 ()
(2.8) 特にな
(0.2) わからない (M.T.=156.0)

3. 高齢運転者対策

(全員の方に)

Q3〔回答票6〕75歳以上の運転者は、免許人口10万人当たりの死亡事故が平成27年には全年齢層の平均の約2倍でした。また、身体機能が衰えているのに運転を続ける方も多いといわれます。
高齢運転者の事故を防ぐために、あなたが重要だと思うことをこの中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (70.7) (ア) 運転免許を保有している高齢者の身体機能のチェックの強化
(59.2) (イ) 認知症の早期診断等のための体制整備
(22.4) (ウ) 病気や運転に関する相談窓口の充実
(52.7) (エ) 運転免許証の自主返納のメリットの拡充や広報の強化
(52.9) (オ) 高齢者の移動手段確保に向けた地域公共交通網の整備
(32.6) (カ) 事故を未然に防止するための運転支援技術の開発・普及
(2.6) その他 ()
(0.8) 特にな
(1.5) わからない (M.T.=295.4)

4. シートベルト

【資料1】を提示して、対象者によく読んでもらってから質問する。

【資料1】

平成27年の調査では、後部座席のシートベルトの着用率は、高速道路で71.3%、一般道路で35.1%でした。

現在、後部座席も含めた全ての座席でシートベルトの着用が義務とされており、運転席及び助手席、高速道路における後部座席での着用義務違反には、運転者に対し行政処分の基礎点数1点を科しています。一方、一般道路における後部座席での着用義務違反には、基礎点数を科していません。なお、行政処分の点数が累積すると免許停止や免許取消しなどの処分を受けることになります。

Q4【回答票7】あなたは、一般道路における後部座席でのシートベルト着用義務違反についてどう思いますか。この中から1つだけお答えください。

- (51.8) (ア) 今のままでよい（一般道路における後部座席での着用義務違反については、行政処分の基礎点数を科さなくてよい）
- (28.7) (イ) 一般道路における後部座席での着用が定着した後、違反者に対して行政処分の基礎点数を科すべきである
- (15.2) (ウ) 一般道路における後部座席についても直ちに行政処分の基礎点数を科すべきである
- (0.3) その他（)
- (4.0) わからない

5. 運転支援技術

【資料2】を提示して、対象者によく読んでもらってから質問する。

【資料2】

現在実用化されている加速・ブレーキなどの操作をシステムが行う「自動運転」機能は、運転者が責任を持って安全運転を行うことを前提とした「運転支援技術」です。したがって、この機能を搭載した自動車を運転する場合は、運転者は、「自動運転」機能利用中であっても、常に周囲の交通状況やシステムの動作状態を監視し、緊急時等必要な場合には、自分で運転する必要があります。

Q5【回答票8】このような現在実用化されている「自動運転」機能の利用方法について、運転者が正しく理解するための機会を設けるべきという意見がありますが、あなたは特にどのような機会を設けるべきと思いますか。この中から1つだけお答えください。

- (10.7) (ア) 自動車の操作方法に関する説明書等に利用方法を記載する
- (54.9) (イ) 自動車メーカーや販売店が、自動車販売時に購入者に対して利用方法について説明する
- (25.5) (ウ) 警察等が、交通安全教育時において広く一般に利用方法に関する説明を行う
- (1.2) その他（)
- (7.7) わからない